

安全対策連絡協議会の実施結果

令和4年9月9日、在スーダン日本国大使館は、大使公邸において令和4年度上半期の安全対策連絡協議会を実施しました。今回の連絡協議会には、計27名の在留邦人が参加しました。冒頭当館から、最近の治安・医療・政治情勢につき状況を説明し、その後出席者の間で、当国において日頃直面している問題等に関して情報共有・意見交換を行うなど、在留邦人全体の連帯と協力関係を高める上で有意義な機会となりました。

以下、今回の連絡協議会の内容について、概要ご報告いたします。

1. 服部大使からの冒頭挨拶

冒頭、服部大使から、当館の活動や業務に対する当地在留邦人の理解と協力について謝意を述べるとともに、約4年振りに大使公邸で安全対策連絡協議会を実施することができたことを嬉しく思うと述べました。

また、大使館からの情報提供のみならず、在留邦人からも様々な意見を頂戴して双方向の情報交換を行い、本協議会が在留邦人が抱える課題の解決と危機意識の向上の場になることを期待している旨述べました。

2. 当館医務官からの当地医療情報説明

当館医務官から、下記リンク先の資料を用いつつ、当地で注意すべき感染症のうち、特に気を付けるべき、新型コロナウイルス感染症及びマラリアについて当地の流行状況、症状、治療法等について説明しました。また、現在注目されているサル痘についての説明も行い、最後にスーダンの医療情勢の情報収集に役立つ下記ウェブサイトを紹介しました。

☞説明時に使用した資料

https://www.sdn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_anzen22dr_00267.html

☞紹介したウェブサイト

－ スーダン保健省 Facebook ページ（当地医療情報に関する情報）

<https://www.facebook.com/FMOH.SUDAN>

3. 当館政務班からの政治・治安・経済・社会情勢説明

当館政務班からは、下記リンク先資料を用いつつ、当地の直近の政治情勢について、複数の文民勢力が状況打開のためのイニシアチブを進めているものの、文民主導政府設立に繋がる有力なイニシアチブがなかなか出てこない状況

にあると説明しました。また、治安情勢について、政治的空白が各地で治安悪化を招いているほか、近隣国の情勢悪化を受け、国境付近が不安定化していることを説明しました。そして最後に、経済状況について、国際社会からの支援も限られている状況のなかで、経済状況は依然深刻であり、劇的改善する見通しを立てにくい状況にあると説明しました。

☞説明時に使用した資料

https://www.sdn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_anzen22seimu_00268.html

4. 当館領事・警備班からの治安情勢説明

当館領事・警備班からは、下記リンク先資料を用いつつ、当地の一般治安の発生状況・実態・対応策について説明しました。具体的には2021年以降の経済状況の悪化を受けて一般治安が急増していること、日本より高い確率で凶悪犯罪が発生していることを説明しました。さらに最近では、オートバイ二人組によるひったくり、車上ねらい、警察官を装ったかっぱらいが頻発しており、被害に遭わないように「目立たない」、「行動を予知されない」、「用心を怠らない」の三原則を守ることが大切であると注意喚起しました。また、万が一被害に遭った場合は、抵抗せずに命を守る行動をとることが大切であると説明しました。

☞説明時に使用した資料

https://www.sdn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_anzen22ryoji_00269.html

5. 質疑応答

下記（１）～（３）の質問に対して、当館からそれぞれ以下のとおり回答しました。

（１）ハルツームの一般治安情勢について、特にどのエリアで犯罪が多発・頻発しているか分かるデータはあるか。

回答：そのようなデータはありませんが、もし入手できれば共有したい。

（追加回答）なお、オートバイ二人組にひったくり事案については、インターナショナルスクールや外国人が集まるレストランなど一般的に外国人やお金持ちが集まるとされるエリアでの発生報告が多い。

（２）日本入国の際の子供のPCR検査陰性証明書について、子供だけで日本に入国する場合は必要か。また、日本入国の際の外国人配偶者の査証について必要か。

回答：日本入国に際し、18歳未満の子供については、有効なワクチン接種証明書を所持している親等の監護者が同伴し、子供の行動管理を行っている場合は、有効なワクチン接種証明を所持している者としてPCR検査の陰性証明書が免除される。一方、監護者が同伴しない場合は、PCR検査の陰性証明書が必要となる。

現在日本入国に関して、全ての国の者に関して査証の取得を求めており、日本人配偶者の査証免除国の外国人も同様に査証が必要となる。

(3) 最近、以前は耳にしなかった押し込み強盗がスーダンでも増えつつあるという話を聞くが、発生状況は如何。

回答：最近ハルツームでも押し込み強盗が発生したとの情報に接している。対策としては、在宅時でも施錠を必ず行い、アパート等の低層階に住んでいる場合は、鉄格子やシャッターを設置する等の措置が有効と考えられる。

(了)